

小規模保育事業所の創設 進捗報告

令和 3 年 1 0 月 4 日開催

第 1 8 回安平町子ども・子育て会議 資料 7 関係

安平町子ども・子育て支援事業計画

- 第16回安平町子ども・子育て会議（令和2年10月1日開催）にて、小規模保育事業所創設を含めた**同計画の変更**をご**承認**いただきました。
- 同年10月27日 北海道へ変更後計画に関する協議
- 同年11月6日 北海道より「差し支えない」旨の通知受理
- 同年11月9日 町HPを活用し周知開始

安平町議会への説明

- 令和 2 年10月、11月、令和 3 年 1 月に町議会全員協議会にて説明を行いました。（合計 3 回）
- 令和 2 年12月議会にて、議員 1 名より一般質問を頂戴しました。
- **令和 3 年 3 月議会**にて、令和 3 年度一般会計予算案に、同事業所創設に関する経費及び収入を計上し、**可決**いただいています。

保育所等整備交付金

- 小規模保育事業所創設に係る経費を助成するための国の事業です。
- 学校法人リズム学園様と創設に向けた設置・運営に関する協定を締結（令和2年12月8日付）し、準備を進めて参りました。
- 令和3年2月2日に、北海道を經由して国（厚生労働省）に対し、交付金申請に係る事前協議を申請しました。
- 事前協議が整い、**4月1日**に国から交付決定の**内示**がございました。
- 内示を受け、北海道（胆振総合振興局）に対し、**4月15日指令前着手届**を提出し、正式な交付決定前に事業を着手する**許可を4月21日**にいただきました。
- これを受け、リズム学園は町教委立ち合いのもと、**5月12日に業者の入札**を実施、**翌5月13日**より事業に着手する**契約を締結**しています。

新子育て安心プラン

- 平成30年度から令和2年度まで、「子育て安心プラン」が厚生労働省により推進されました。
- 保育ニーズが増大する地域への支援等を目的としています。
- 令和3年度の後継が「新子育て安心プラン」です。
- 当町は、令和2年度において、年度当初において待機児童が発生していたことから、「子育て安心プラン」の採択を受けました。
- 令和3年度においても引続き採択を受けるべく、令和3年2月3日までに申請を提出しました。
- **令和3年3月26日**付で、国から正式に**採択**を受けました。

保育所等整備交付金と新子育て安心プラン

- 新子育て安心プランの採択を受ましたので、保育所等整備交付金活用時の**町負担割合が大幅に軽減**されます。（国が負担します。）

採択**無**：1／4 → 採択**有**：**1／1 2**

※事業者（リズム学園様）の負担は、変わりません。

負担割合：1/4

事業費試算（現在値）

歳出（町→法人 補助金）

区分	補助基準 (千円)	交付決定 (千円)	備考
創設経費	59,541	44,654	①
解体等経費	4,312	4,312	②

町負担額

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = \mathbf{48,966} \text{千円}$$

歳入（国→町 補助金）

区分	基準額(千円)	対象経費(千円)	備考
創設経費	79,484	59,541	町交付決定ベース

補助対象計 59,541千円…③

$$\textcircled{3} \times \text{国補助率} 2/3 = \mathbf{39,694} \text{千円}$$

$$\text{町単費 } 48,966 \text{千円} - 39,694 \text{千円} = \mathbf{9,272} \text{千円}$$

事業費試算（当初説明内容：プラン不採択）

歳出（町→法人 補助金）

区分	基準額(千円)	積算(千円)	備考
本体工事+ 活用促進	53,500+ 1,720	55,220	定員20以下
設計料	2,675	2,675	本体工事 の5%
開設準備 費	27 × 定員数	27 × 19名 = 513	
解体等経 費	3,023	3,023	見積ベース

補助基準計 61,431千円…①

① × 町補助上限3/4 = 46,074千円

歳入（国→町 補助金）

区分	基準額(千円)	対象経費(千円)	備考
本体工事	53,500	53,500	定員20以下
設計料	2,675	2,675	本体工事 の5%
開設準備 費	27 × 定員数	27 × 19名 = 513	
地域活用 促進加算	1,720	1,720	

補助対象計 58,408千円…②

② × 国補助率1/2 = 29,204千円

町単費 46,074 - 29,204 = 16,870千円

創設地の貸与

- 待機児童の解消及び発生の予防は、**町の責務**である。
- しかし、町単独で事業所の創設等を実施するには**財政負担が大**
- そこで、リズム学園様との**協働**により実施することになった。
- よって、リズム学園様に対する**支援の一つ**として、**町有地を無償貸与**することとされた。
- **令和3年4月7日**付、安平町財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例に基づき、町有地等（別紙のとおり）を無償貸与する**契約を締結**しました。
- 貸与期間は、令和16年3月31日までの**およそ12年間**です。